

2023

One solution for all your Microsoft 365 need

with 700+ reports & e-mail alerts



スタートアップガイド

ManageEngine 
M365 Manager Plus

2023 年 発行 (第 4 版)

■著作権について

本ガイドの著作権は、ゾーホージャパン株式会社が所有しています。

■注意事項

本ガイドの内容は、改良のため、予告なく変更することがあります。
ゾーホージャパン株式会社は本ガイドに関しての一切の責任を負いかねます。当社はこのガイドを使用することにより引き起こされた偶発的もしくは間接的な損害についても責任を負いかねます。

■商標一覧

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

ManageEngine は、ZOHO Corporation Pvt.Ltd 社の登録商標です。

なお、本ガイドでは、(R)、TM 表記を省略しています。

目次

1. はじめに.....	3
1-1 本ガイドについて.....	3
1-2 対象読者	3
1-3 本ガイドの見方	3
2. 主な機能と特徴概要.....	4
2-1 ライセンスについて	4
2-2 プランについて.....	4
評価版(無料版)から Professional 版に切り替える方法.....	5
3. インストール.....	6
3-1 システム要件.....	6
ハードウェア要件	6
オペレーティングシステム要件.....	6
Web ブラウザー要件	6
データベース要件.....	6
ポート要件	6
FW 設定	7
前提条件	7
3-2 インストール手順.....	8
4. 起動と停止	12
4-1 アプリケーションとしての起動/停止	12
M365 Manager Plus の起動方法	12
M365 Manager Plus の停止方法	12
4-2 Windows サービスとしての起動/停止.....	13
M365 Manager Plus サービスのインストール方法	13
M365 Manager Plus サービスの起動方法	13
M365 Manager Plus サービスの停止方法	14
5. Web コンソールへのアクセス	15
6. Microsoft 365 テナントの設定.....	16
7. ライセンス管理	18
ライセンス登録状況の確認方法	18
管理するユーザーの確認/変更方法	19
8. トラブルシューティングとヒント	20
テナントの認証情報を入力した際にエラーが表示される場合	20
一部レポートが正しく表示されない場合	20

1. はじめに

1-1 本ガイドについて

本ガイドでは M365 Manager Plus のインストール方法から初期設定の内容について説明しています。
また、本ガイドは ビルド 4520 を元に作成しています。

1-2 対象読者

本ガイドは、導入に関するシステム管理者を対象としています。

1-3 本ガイドの見方

本ガイドでは、文字の書体を次のように区別して記載しています。

字体または記号	説明	例
'AaBbCc123'	ファイル名、ディレクトリ名、画面上の出力を表示します	'ManageEngine_M365_Manager_Plus_Japanese.exe' を管理者権限にて実行します
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピューター出力と区別して示します。	アドレスバーに http://host_name:port_number を入力します
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	インストールしたディレクトリを <i>M365 Manager Plus_Home</i> とし、説明を行います。
[AaBbCc123]	ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	[ファイル監査]タブ

2. 主な機能と特徴概要

2-1 ライセンスについて

M365 Manager Plus で提供しているライセンス体系の特徴は以下の通りです。

種類	特徴
年間ライセンス	<ul style="list-style-type: none">■ 1 年間利用可能な製品ライセンスで、年間保守サポートサービスが含まれている■ 1 年ごとに年間ライセンス契約を更新する

※M365 Manager Plus は 30 日間無料でフル機能を試用可能な評価版を提供しています。またライセンスのご購入がない状態で 30 日が経過すると、自動的に無料版へ移行します。

2-2 プランについて

M365 Manager Plus で提供しているプランは以下の通りです。

種類	機能
M365 Manager Plus 評価版	無制限のユーザーを 30 日間管理できます。 また、3 人のヘルプデスク技術者と 1 人のスーパー管理者を使用できます。
M365 Manager Plus 無料版	評価期間が終了すると、M365 Manager Plus は自動的に無料版に移行します。無料版では、次の機能が提供されます。 <ul style="list-style-type: none">■ 管理、レポート、監査、モニタリング、アラート、自動化、コンテンツ検索機能（25 ユーザーまたはメールボックス）■ ヘルプデスクの役割の委任（1 ユーザー）■ 管理とレポート機能（共有メールボックス、備品用メールボックス、会議室メールボックス、パブリックフォルダー、連絡先、グループ、ライセンスなど非ユーザーリソースは無制限）■ ユーザーアカウントのロックアウトを防止するためのパスワード有効期限通知機能
M365 Manager Plus 購入版 (Professional 版)	Professional 版のライセンスプランで購入したユーザー数またはメールボックス数に対応する M365 Manager Plus のすべての機能（管理、レポート、監査、モニタリング、アラート、自動化、コンテンツ検索、Office 365 タスクの委任など）に、制限なしでアクセスできます。

- 1) M365 Manager Plus 画面の右上にある[ライセンス]をクリックすると、ライセンス情報ページが表示されます。

ライセンス詳細

ライセンスの種類

Professional

使用者

ZOHO

製品の名称

ManageEngine M365 Manager Plus

製品のバージョン

バージョン4.5、ビルド4520

製品アーキテクチャ

64 bit

AMS有効期限

26 12 2023

購入済み

使用済み

ユーザ数

50000

10189

技術者数

20

1

[今すぐ購入](#)

[お見積もりについて](#)

[価格の詳細](#)

ライセンスファイルを選択してくだ

参照

アップグレード

[License.xmlを参照して[アップグレード]ボタンをクリック]

- 2) [参照]をクリックして、購入したライセンスファイルを選択します。
- 3) [アップグレード]をクリックすると、ライセンスが適用されます。

3. インストール

3-1 システム要件

M365 Manager Plus は.exe 形式で配布されています。また Windows の 64bit に対応しており、以下のシステム要件を満たした任意のサーバーへインストールすることが可能です。

ハードウェア要件

	最小	推奨
CPU クロック数	3GHz	3GHz
CPU コア数	4	6 以上
メモリー	8 GB	16GB
ハードディスク	100GB (SSD 推奨)	200GB(SSD 推奨)

- ・ 専用サーバーを用意し、製品単体で運用した場合を前提としています。
 - ・ 上記はおおよその目安です。導入の前に、実運用環境またはそれと同等の環境で、十分に製品を評価していただき、利用用途、要件、利用環境に適合することを確認してください。
- 導入前に[製品導入前の確認事項](#)を必ずご確認ください。

オペレーティングシステム要件

- ・ Windows 10
 - ・ Windows Server 2012 / 2012 R2 / 2016 / 2019 (64bit)
- ※クライアント OS は評価目的のみで利用可能です。本番環境にはサーバーOS をご利用ください。

Web ブラウザー要件

- ・ Microsoft Edge (Chromium 版)
 - ・ Firefox 45.0 以上
 - ・ Chrome 45.0 以上
- ※ JavaScript の実行を許可してください。

データベース要件

M365 Manager Plus で Microsoft SQL Server を使用する場合は以下のバージョンが使用可能です。

M365 Manager Plus ビルド番号	データベースのバージョン
4400 以上	Microsoft SQL Server 2012 以上

ポート要件

M365 Manager Plus は 80 (HTTP) および 443 (HTTPS) ポートを使用します。

一般ドメイン

- microsoft365managerplus.com
- *.zoho.com
- *.manageengine.com
- *.zohocorp.com
- api.bcti.brightcloud.com
- *.manageengine.jp (日本ビルドのみ)

Azure AD 一般クラウド

モジュール	エンドポイント
REST API	login.microsoftonline.com
	graph.windows.net
	graph.microsoft.com
	manage.office.com
	portal.office.com
	login.windows.net/common/oauth2/token
	admin.microsoft.com/fd/CommerceAPI/my-org
EXCHANGE ONLINE	outlook.office.com
	outlook.office365.com/powershell-liveid

- ※Azure [Germany](#)、[China](#) および [US](#) のクラウドユーザーは、それぞれの表を参照してください。

前提条件

- 使用環境にてインターネット接続が可能である必要があります。
- Azure Active Directory に関連する一部の機能を使用するために” Windows Azure Active Directory Module for Windows PowerShell (64bit 版)”モジュールがインストールされている必要があります。

モジュールがインストールされているか確認するには PowerShell を開き、以下のコマンドを実行してください。

```
Get-InstalledModule -Name AzureAD
```

モジュールがインストールされていた場合は、モジュール名が表示されます。インストールされていない場合は、下記コマンドを実行してください。

```
Install-Module -Name AzureAD -Force
```

- Web サーバー、データベースサーバーともに、日本語版または日本語がサポートされている Multi-Language 版をご利用ください。
- M365 Manager Plus をインストールするサーバーにおいて、アンチウイルスソフトなど別のツールによる定期的なバックアップやスキャンを実行している場合は、そのバックアップ/スキャン対象から、M365 Manager Plus のインストールディレクトリを除外してください。データの破損につながる場合があります。

- ・ M365 Manager Plus のインストールディレクトリには、すべて英語のフォルダー名をご利用ください（日本語のフォルダー名が含まれる場合、正しく動作しません）。
- ・ 導入前に、必ず、製品の評価版による検証をお願いします。

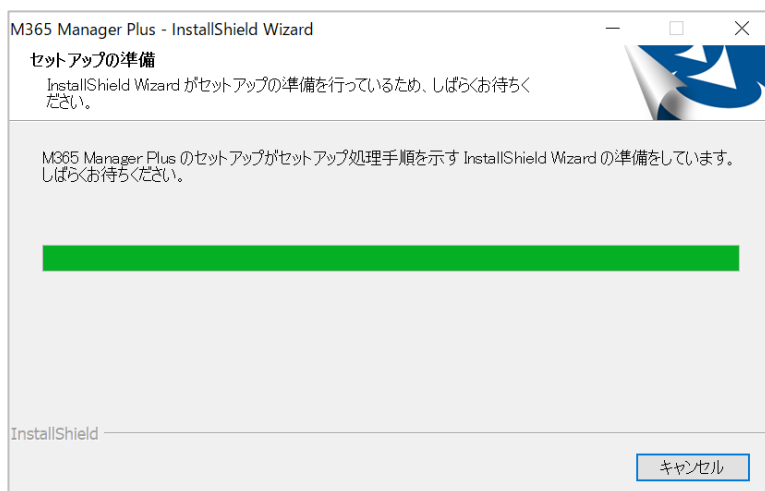
3-2 インストール手順



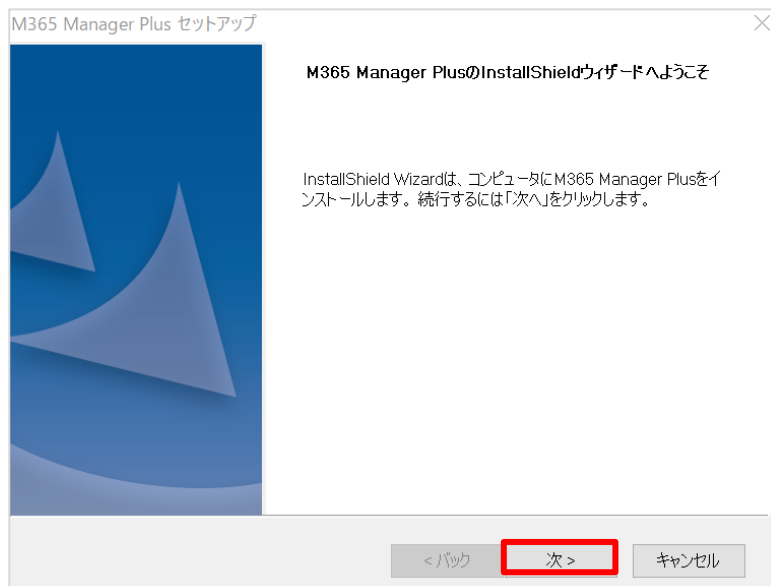
NOTE

アンチウイルスソフトやバックアップツールなどをインストールしている場合は、**M365 Manager Plus をインストールしたフォルダーを必ずスキャン対象またはバックアップ対象から除外してください**。除外していない場合、スキャンまたはバックアップによってデータベースが破損する恐れがあります。また、リアルタイムスキャンを実施している場合は、スキャンが実行される際に M365 Manager Plus のパフォーマンスに影響を及ぼす可能性があります。

- 1) 'ManageEngine_M365_Manager_Plus_Japanese.exe' を管理者権限にて実行します。
- 2) インストールのセットアップの準備が開始します。



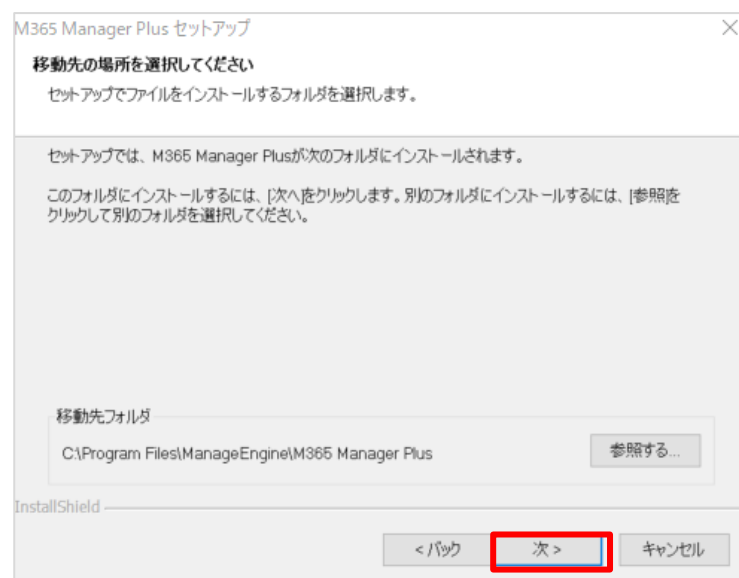
- 3) インストール画面が表示されます。[次へ]をクリックします。



- 4) ライセンス条項を承諾後、[はい]をクリックします。



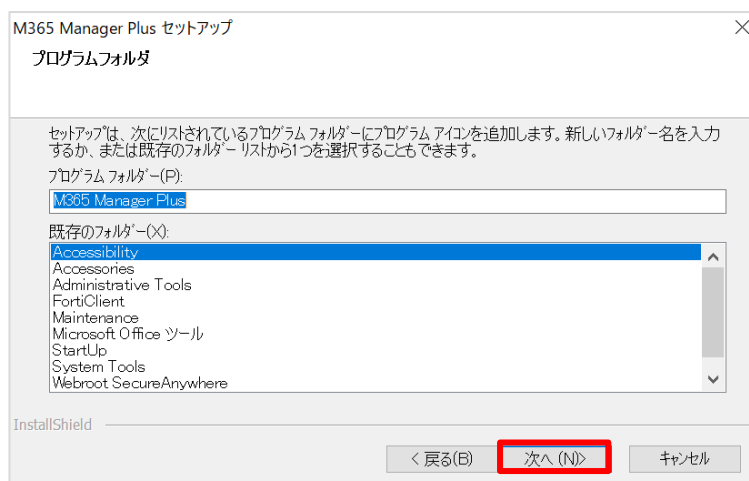
- 5) インストールディレクトリを選択します。デフォルトは 'C:¥Program Files¥ManageEngine¥M365 Manager Plus' です。



- 6) Web サーバーのポート番号を入力します。デフォルトでは、**8365** です。



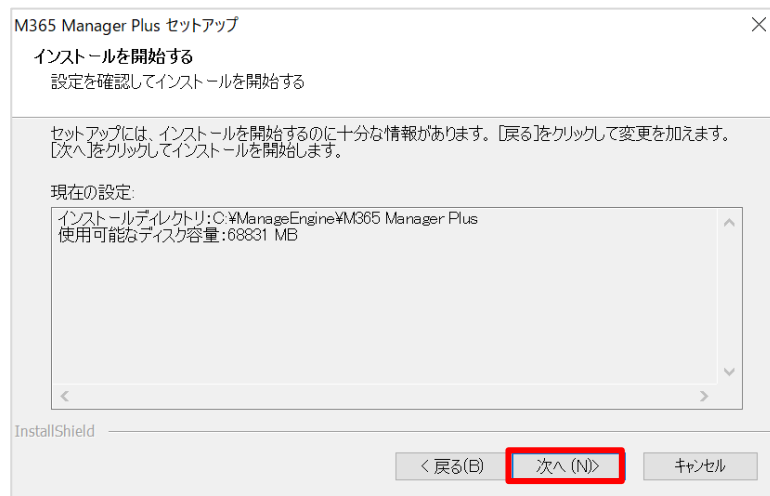
- 7) プログラムフォルダー名を入力し、[次へ]をクリックしてください。デフォルトでは、**M365 Manager Plus** です。



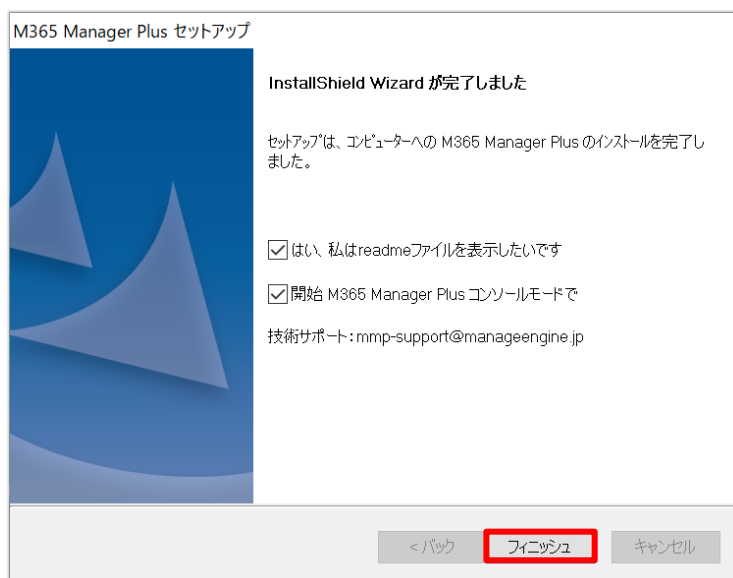
- 8) お客様情報を入力します。（任意）

プライバシーポリシー。'. At the bottom right are three buttons: '< バック' (disabled), '次 >' (highlighted with a red box), and 'スキップ' (disabled)." data-bbox="282 661 770 932"/>

9) インストールを開始するか選択します。



10) インストールの完了です。必要に応じてオプションを選択後、[フィニッシュ]をクリックします。



[はい、私は readme ファイルを表示したいです] -> リリースノート(英語版)が開きます。

[開始 M365 Manager Plus コンソールモード] -> 終了後 M365 Manager Plus がアプリケーションとして起動します。

4. 起動と停止

M365 Manager Plus には、「アプリケーションとして起動」と「Windows サービスとして起動」の 2 通りの起動方法があります。それぞれの起動方法について、以下にご紹介します。

※「Windows サービスとして起動」を推奨していますが、お使いの環境に適した起動方法を選択することが可能です。

4-1 アプリケーションとしての起動/停止

M365 Manager Plus の起動方法



M365 Manager Plus をアプリケーションとして開始するには、[スタート] → [M365 Manager Plus] → [M365 Manager Plus を起動する]を選択します。

M365 Manager Plus の停止方法



M365 Manager Plus をアプリケーションとして停止するには、[スタート] → [M365 Manager Plus] → [M365 Manager Plus を停止する]を選択します。

4-2 Windows サービスとしての起動/停止

M365 Manager Plus サービスのインストール方法

- 1) スタートメニューをクリックします。
- 2) M365 Manager Plus の中にある[M365 Manager Plus をサービスとしてインストールする]をクリックします。
- 3) M365 Manager Plus がサービスに追加されます。



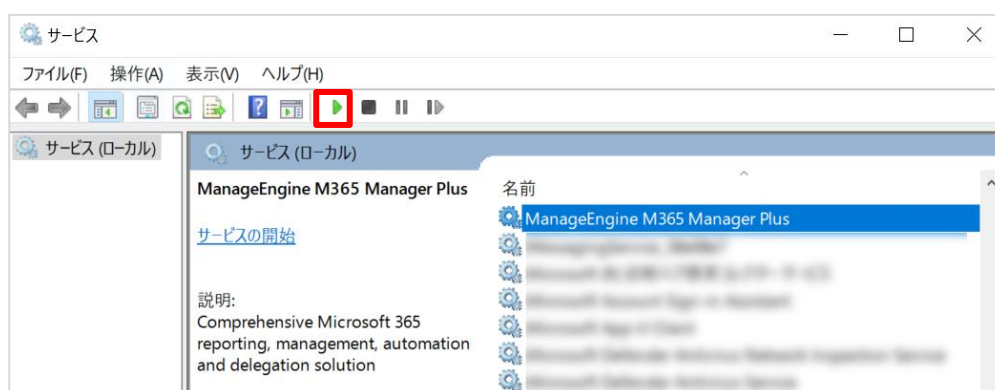
NOTE


※ コマンドプロンプトからサービスを追加する場合

- 1) コマンドプロンプトを管理者として実行します。
- 2) <M365 Manager Plus インストールフォルダー>¥bin フォルダに移動します。
- 3) 次のバッチファイルを実行します：InstallAsService.bat

M365 Manager Plus サービスの起動方法

Windows サービスとして起動する場合



[スタート]→[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]を開き、[ManageEngine M365 Manager Plus]を選択します。そして  ボタンをクリックしてサービスを開始してください。




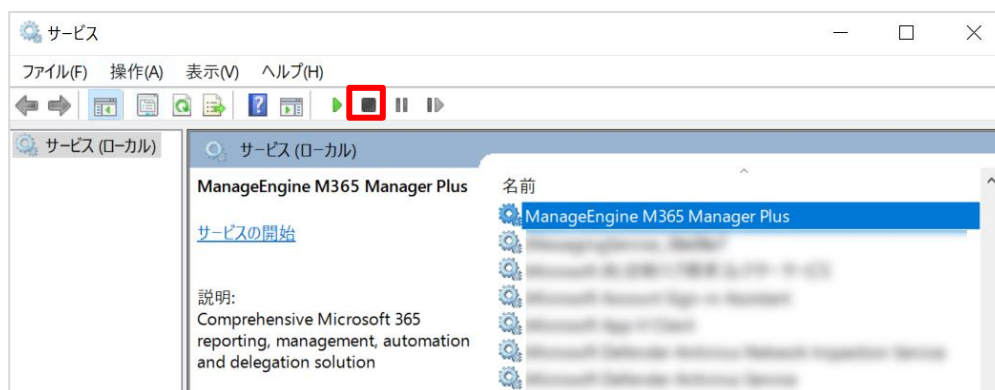
Windows サービスへ登録すると、OS 起動にサービスが自動起動します。自動起動を有効化するため、サービス名をダブルクリックした際に表示されるプロパティ画面にて、「スタートアップの種類」が「自動」となっていることをご確認ください。

実行ファイルのパス:
"C:\ManageEngine\M365 Manager Plus\bin\wrapper.exe" -s "C:\ManageEngine\

スタートアップの種類(E): 自動

M365 Manager Plus サービスの停止方法

[スタート]→[コントロールパネル]→[管理ツール]→[サービス]を開き、[ManageEngine M365 Manager Plus]を選択します。そして  ボタンをクリックしてサービスを停止してください。



5. Web コンソールへのアクセス

- 1) JavaScript の実行を許可した状態で、Mozilla Firefox や Google Chrome などの Web ブラウザーを起動します。
- 2) アドレスバーに **http://[host_name] : [port_number]**と入力します。
例 : http://mmp-server:8365 (デフォルトのポート番号は 8365 です。)



NOTE

[**host_name**]は M365 Manager Plus が動作しているマシンのホスト名または IP アドレスを指し、[**port_number**]はインストール時に M365 Manager Plus の Web サーバーを動作させるポートとして指定した値を指します。
SSL を有効化する設定を行った場合は、アドレスバーに **https://[host_name]:[port_number]**と入力します。

管理者として M365 Manager Plus にログインするには、ユーザー名/パスワードに admin と入力して[ログイン]をクリックします。

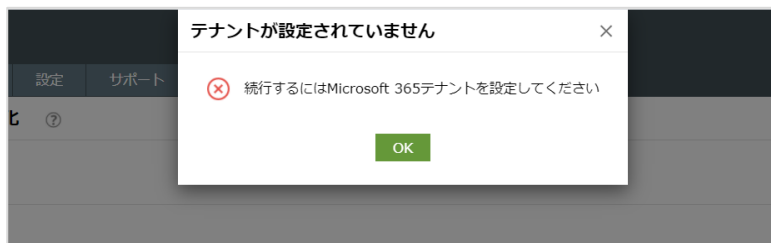


NOTE

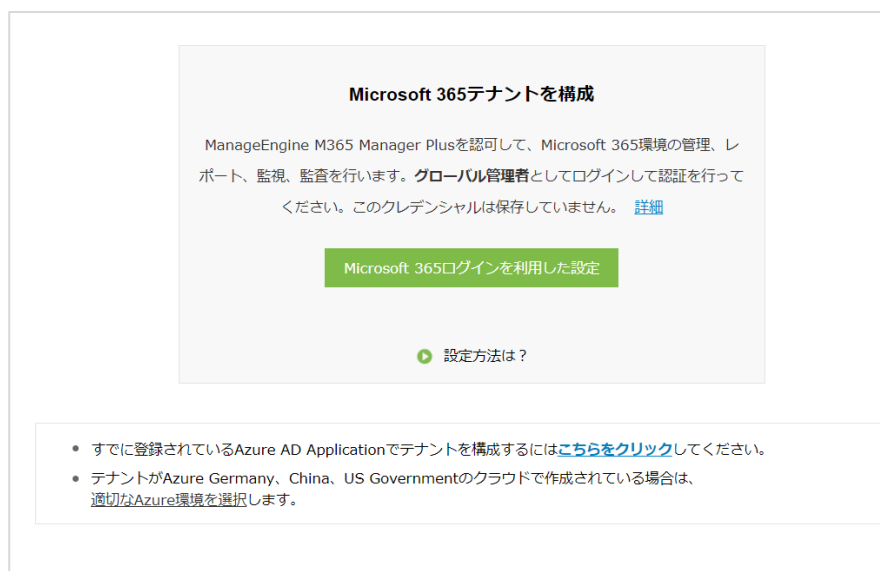
上記の方法でリモートマシン上の M365 Manager Plus にうまくアクセスできないときは、M365 Manager Plus がインストールされているマシン上の Web ブラウザーから **http://localhost:8365** にアクセスできるかどうかをご確認ください。

6. Microsoft 365 テナントの設定

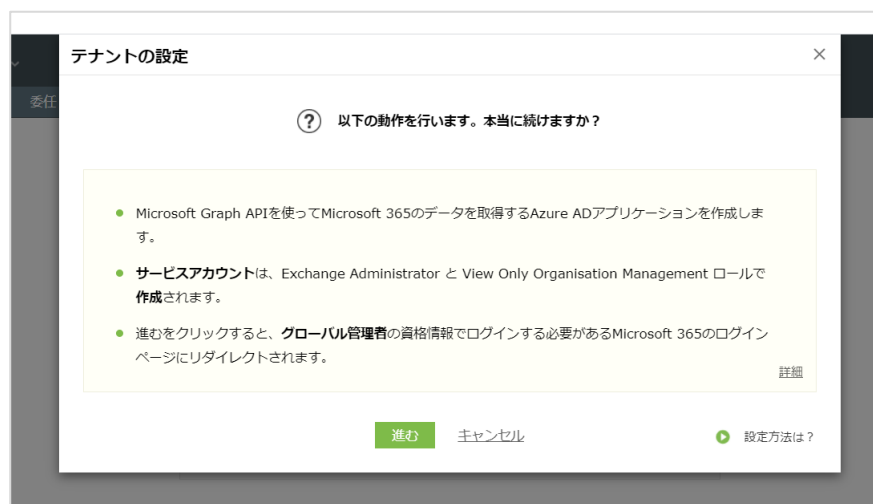
- 1) Microsoft 365 テナントが設定されていない場合（初回ログイン時）、下記画像のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



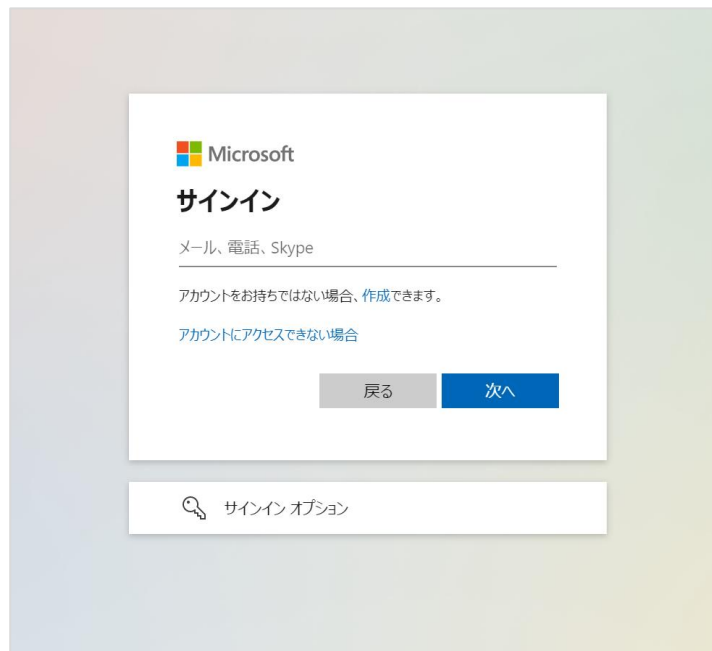
- 2) [Microsoft 365 ログインを利用した設定]をクリックします。



- 3) 確認画面のポップアップが表示されます。[進む]をクリックします。



- 4) Microsoft 365 の認証ページへリダイレクトされます。グローバル管理者ユーザーでログインします。ログイン後、画面に従って「要求されているアクセス許可」の承諾を行います。



- 5) テナントの追加に成功した場合、下記画像のようにテナント情報が登録されます。




構成された Office 365 のテナント ①					
名前	テナント名	ドメイン	REST API アクセス	サービスアカウント	ステータス
  	.onmicrosoft.com	ドメイン	有効化済み		成功

7. ライセンス管理

M365 Manager Plus では、「管理するユーザー数」に基づきライセンスが消費されます。管理するユーザーを確認/変更する方法について、以下にご紹介します。

ライセンス登録状況の確認方法

- 1) 画面右上の[テナント設定]をクリックします。
- 2) [ライセンス管理]をクリックします。

ライセンス管理 ⓘ				⌵ 戻る
	総ライセンス数 無制限		使用されたライセンス数 9641	 有効期限 (日数) 25

※各項目について：

[**総ライセンス数**] -> 管理可能なユーザー数の総数が表示されます。

[**使用されたライセンス数**] -> 使用されたライセンス数が表示されます。

[**有効期限**] -> ライセンスの有効期限が表示されます。

管理するユーザーの確認/変更方法

- 1) [ライセンス管理]の[管理対象のユーザー]に表示されている数字をクリックします。



- 2) 特定のユーザーを管理対象から除外する場合は、チェックを外して[OK]をクリックします。



- 3) すべてのユーザーをライセンス対象として登録/除外する場合は、テナント名をマウスオーバーした際に表示される [すべてを管理する](#) | [すべてを管理解除する](#) オプションを選択します。

8. トラブルシューティングとヒント

テナントの認証情報を入力した際にエラーが表示される場合

- 入力した認証情報が正しいことをご確認ください。
- 指定したアカウントがロックされていないことをご確認ください。
- Office 365ManagerPlusTroubleshoot.ps1 を実行してトラブルシューティングを実施してください。
 - 1) PowerShell を管理者として起動します。
 - 2) 以下のコマンドを実行します。

```
Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy RemoteSigned -Force -Scope process
```

- 3) <M365 Manager Plus のインストールフォルダー>¥bin フォルダーへ移動します。
- 4) **Office 365ManagerPlusTroubleshoot.ps1** を実行します。
- 5) テナント登録時に指定したアカウントの認証情報を入力します。
- 6) **Is Global Admin Account – False** と結果が返ってくる場合、指定したアカウントがグローバル管理者権限を保持しているかをご確認ください。

一部レポートが正しく表示されない場合

- 監査ログの検索が有効化されていることをご確認ください。
- 監査ログの検索が有効化されているか確認する方法および、有効化方法 Microsoft の公開サイト「[監査のオンとオフを切り替える](#)」を参照してください。



NOTE

前提として、各ユーザーのメールボックスに対してメールボックス監査ログが有効化されている必要があります。詳細については、Microsoft の公開サイト「[メールボックスの監査を管理する](#)」を参照してください。